※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科（生活デザイン系列）

教科	工業	科目	(学) プランニング	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３学年までに学習した基礎的な知識、技術を応用して生活空間に関連する実習を行う。
建築空間について考え図面を作成し平面的･立体的に表現する。また建築空間に必要な工業製品（生活用品）に関する課題に取り組む。

日常から建築物や生活に密着した工業製品などを観察してどのように使用されているか考える習慣を身につけましょう。課題に取り組む際に製作計画について自分で考えましょう。

今までに学んだ技術や材料についての知識や座学で学んだことを活用して学習の効果を高めるよう工夫してください。

2　学習の到達目標

・実習で使用する道具・材料の名称や使用法を理解するようにする。
･身近な生活のなかで建築やインテリアに関心を持ち課題製作に必要な技術と作業計画をたてる力を養う。デザイン製品や住宅建築を課題に作品を製作するために必要な内容を学習する。生徒はそれをもとに作業計画や工程を考える力をつける。製作過程で生じる問題点を改善するために思考・判断できる力を養う。
・自らデザインした作品を提案する技術を習得する。また、作成した課題作品について製作過程や完成について説明できる力を身につけ作業を振り返る態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築やデザインに関する知識と技術的を身につける。 環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その知識と技術を適切に活用することができる。	基本的な知識と技術を基に、課題解決にむけて適切に思考・判断する能力を身につける。 自ら計画した作品を製作に表現し他者に伝えることができる。 実習を通して現代社会における工業の意義や役割を理解している。工業の諸課題の解決をめざして思考を深めることができる。	実用性のある工業製品や建築を表現する手法に関心をもち、課題製作について主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	作品の理解・実習課題Ⅰ	・建築物やデザイン製品を調査研究する ・プランニング課題Ⅰの計画と製作 住宅	a:住宅や工業デザインに関連する事柄についての知識と基本的な技術を身につける。 b:各作業に応じて適当な用具を選択し、作品を作成する方法や計画について思考・判断ができる。作品製作するにあたり自分の考えを表現して他者に伝えることができる。 c:住空間や工業デザインについて興味・関心を持ち，実習の作業に主体的に取り組むことができる。作業を振り返り問題点を改善しながら課題に取り組む態度を身につけようとしている。	課題に対する理解 作品の完成度 実習態度	作品の完成度 実習態度	実習態度 振り返り

※令和４年度以降入学生用

後期	作品の理解・実習課題Ⅱ	・作品の理解と調査 ・プランニング課題Ⅱの計画と製作 商業建築 インテリア	a:課題に関連する事柄についての知識と技術を身につける。 b: 各作業に応じて適当な用具を選択し、製作物を作成する方法や計画について思考・判断ができる。 課題作品の製作を通じて自分の考えを表現し他者に伝えることができる。 c: 主体的に興味・関心を持ち，実習に主体的に取り組むことができる。作業を振り返り問題点を改善しながら課題に取り組む態度を身につけようとしている。	課題に対する理解 作品の完成度 実習態度	作品の完成度 実習態度	実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度